

①情報の利用目的及び利用方法

皆さまの検診結果(結節や嚢胞の有無)に関連するのはどのような要因なのかを明らかにするために、次項に記す項目と、皆さまの住所付近の環境放射線(空間線量、土壌線量など)を関連付けて統計分析します。

② 利用し、又は提供する情報の項目

提供を予定しているのは検診参加前に説明致しました「書類 2 個人情報保護と検診データの取扱いに関する約束(以下、「約束」と呼びます)」に記載した下記の項目です。

検診結果(所見:のう胞の有無、結節の有無)

問診票で回答頂いた検診に影響を及ぼす生活活動の内容等の情報

市町村までの住所、検診日、年齢、性別、

③ 利用する者の範囲

研究は下記の体制で行います。データを提供するのは濱岡教授に対してです。「約束」では、住所に関しては2018年11月まで受診の方については「大字まで」、同12月以降受診の方には「市町村」までとあるため、濱岡教授には市町村までの住所を提供します(例 ○○町)。ただし、環境放射線については、直径600m(文科省などの空間線量)もしくは大字レベル(「みんなの測定サイト」)で測定値が公開されており、より詳細な比較が可能です。しかし、個人を特定されるリスクも高くなるため、大字レベルの住所情報は濱岡教授には提供せず、基金の佐藤が濱岡教授の指導を受けつつ分析を行います。

・慶應義塾大学商学部

濱岡 豊:研究責任者として全体的な管理、市町村レベルのデータ分析、大字レベルの分析指導を行います。

・関東子ども健康調査支援基金

佐藤登志子:検査、調査データの基礎集計やマッチング、大字レベルのデータ分析を行います。

大石光伸:被曝線量調査の整理を行います。

木本さゆり:検査、調査データの管理を行います。

・これまで検査にご協力頂いた先生方。医学的な解釈、報告の取りまとめ時のアドバイスなどをお願いします。

野宗義博、坂口智一、宮崎康、牛山元美、土谷良樹、振津かつみ、青山浩一、池場裕美子

④ データの管理

当基金の木本、佐藤が責任をもってデータを管理致します。当基金では、これまでも皆さまの検診などのデータは特定の者しかアクセスできない状態で管理しており、漏洩などの問題が生じたことはありません。引き続き、厳重に管理致します。

⑤情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること

データ提供するかいなかは自由です。データ提供への同意、不同意にかかわらず、今後の検診には参加頂けます。データ提供に同意頂けない場合には、お手数ですが、次項の方法での書面の提出をお願い致します。同意頂ける場合は、お返事を頂く必要はありません。なお、今回は下記の締め切りを設定していますが、その後の同意の撤回、不同意の変更も自由です。ただし、研究の進捗状況によっては分析から除外したり、含めることができませんので、変更される場合は早めにお知らせ下さい。

⑥受付方法

同意頂けない場合は別添の書式(「関東子ども健康調査における甲状腺所見の関連因子の分析」への匿名化データ提供不同意について)にご記入、署名もしくは捺印して頂き、同書式記載の方法で提出をお願い致します。7月から研究を開始する予定ですので6月末までに送信下さい。

その他、ご不明な点は下記までお問い合わせ下さい。

関東子ども健康調査支援基金 担当 木本 宛て

メール ibachiba@kantokodomo.info

FAX 0297-45-6675